

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	公共政策大学 院	カテゴリー	社会科学総合科目 群	横断 区分	文理横断型
授業科目名 (英訳)	通商産業政策 Trade Policy and Industrial Policy			講義担当者 所属・氏名	公共政策教育部・ 教授(特)・佐伯 英隆	開講 場所	総合研究2号館 第1RPG ルーム
配当 学年	専門職 修士 博士後期	単位 数	2単位	開講 期	前期	曜 時 限	水4限 (14:45～16:15)
						授業 形態	講義
【授業の概要・目的】 本講座は、 ①そもそも「産業政策」なるものが必要なのか、有効なのかという課題から出発し、 ②戦後のわが国の産業構造の変遷を俯瞰し、 ③産業構造の高度化過程における産業政策の役割と限界を論じ、 ④各国の産業政策を比較・検討し ④同時に通商政策との連携と ⑤通商政策意思決定過程における政・官・民の機能と相互関係の検討 等を通じて、 ⑥産業経済の内外一体化、「グローバル化」と称されるものの実態と功罪を把握することを目的とする。受講者には講義全体の流れの中で、「国が富む、国が強くなる」ということはどういう事なのかということを考えるきっかけを掴んでもらいたいと考えている。							
【研究科横断型教育の概要・目的】 「学問的な真理」よりもむしろ「具体的成果と結果からみた判断の正しさ」を要求される通商・産業政策の遂行に必要な素養と手法は、法学、政治学、経済学、行政学等の各分野での専門家より、各分野を総合的・包括的に把握し限定された時間の中で適切な判断が下せるという「専門家」を必要とする。その意味で、本講座は研究科横断型講座に該当する。							
【授業計画と内容】 各事項について概ね2回程度の講義を行うとともに、経済界、官界、政界、マスメディア等から適宜ゲストスピーカーを招き、個別テーマ毎に討議を行う機会を設ける。 また、授業の中盤と終盤において受講者に課題を与えてレポートを課し討議形式の授業を行う。ゲストスピーカーの都合により、個別テーマの表題については若干の変更がありうる。因みに、平成25年度においては、前資源エネルギー庁長官、経済産業省サービス政策室長、共同通信大阪支社整理部長等をゲストスピーカーとして招いた。							
【履修要件】 特になし							
【成績評価の方法・基準】 授業の中盤と終盤においてそれぞれ一度ずつ(計二回)レポートを課す。平常点を加味する。							
【教科書】 特に指定しない。必要に応じプリントを配布する。							
【参考書等】 授業において順次紹介する。							
【その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)】 希望者があれば、企業の生産ラインの見学等の手配も可能。							